



千葉開府
Road to
900
since 1126

令和元年10月16日
【教科等の指導、今後の取組等に関すること】
教育委員会事務局学校教育課
教育指導課
電話 245-5936 内線8137
【全国学力・学習状況調査の結果、データの分析に関すること】
教育委員会事務局学校教育課
教育センター
電話 285-0900

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の公表について

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせします。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の実施と内容

- (1) 調査実施日
平成31年4月18日(木)
- (2) 調査対象校・対象学年・対象児童生徒数
小学校111校 第6学年児童 8,010名、中学校55校 第3学年生徒 7,396名
- (3) 調査内容
 - ア 教科に関する調査（小学校－国語・算数、中学校－国語・数学・英語）
 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力等に係る内容
 上記の①と②を一体的に問う問題
 - イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ①児童生徒に対する調査（小学校58項目・中学校69項目）
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査
 - ②学校に対する調査（小学校64項目・中学校80項目）
指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備等の状況に関する調査

3 調査結果概要について

(1) 教科に関する調査結果

ア 全国、千葉県、指定都市の平均正答率（％）と千葉市全体の結果（別添概要のp.1）

小学校 第6学年	国語	算数	
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	
千葉市	64	67	
全国	64	67	
千葉県	63	65	
指定都市	64	67	
全国との比較	0	0	
中学校 第3学年	国語	数学	英語
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	平均正答率(%)
千葉市	73	59	57
全国	73	60	56
千葉県	72	57	55
指定都市	73	60	57
全国との比較	0	-1	+1

※指定都市の値は公表された各指定都市平均正答率の平均値

イ 本市の調査結果に見られる特徴

① 平均正答率より

- ・全国の平均正答率と比較して、本市の小学生は、国語、算数ともに、全国と同等である。中学生は、国語は同等で、数学では1ポイント下回り、英語については、1ポイント上回っている。
- ・千葉県の前平均正答率と比較すると、本市の小学生・中学生ともに、いずれの教科（国語、算数・数学、英語）においても上回っている。

② 正答数の分布（別添概要のp. 2～p. 3）

- ・小学校・中学校ともに、国語、算数・数学、英語いずれの教科において、全国とほぼ同等の分布を示している。

(2) 児童生徒に対する質問紙の調査結果（別添概要のp. 7～p. 15）

ア 「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」

児童→84.7%（全国83.8%より0.9ポイント高い）

生徒→70.0%（全国70.5%より0.5ポイント低い）

イ 「学校に行くのは楽しいと思う、どちらかといえばそう思う」

児童→84.0%（全国85.8%より1.8ポイント低い）

生徒→80.3%（全国81.9%より1.6ポイント低い）

ウ 「5年生まで（1・2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う、どちらかといえばそう思う」

児童→77.0%（全国77.7%より0.7ポイント低い）

生徒→74.2%（全国74.8%より0.6ポイント低い）

エ 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をする」

児童→32.7%（全国29.3%より3.4ポイント高い） 「全くしない」は2.5%（0.2ポイント高い）

生徒→40.2%（全国35.5%より4.7ポイント高い） 「全くしない」は5.4%（1.0ポイント高い）

オ 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」

児童→60.9%（全国68.0%より7.1ポイント低い）

生徒→43.8%（全国50.6%より6.8ポイント低い）

4 別添概要に公表されている図表一覧

(1) 問題別平均正答率一覧(%) [全国・千葉県・指定都市・千葉市] <平成20～令和元年度>

(2) 正答数分布 [全国・千葉市] <平成31年度>

(3) 全国平均正答率との差異から見る各学校の経年推移表<平成30・31年度の比較>

(4) 平均正答率の顕著な向上が見られた学校の取組事例<経年推移の比較から>

(5) 児童生徒質問紙調査より [千葉市・全国] <平成31年度>

[自己肯定感、将来の夢や目標等に関する意識]

- ・自分には、よいところがあると思うか
- ・将来の夢や目標を持っているか
- ・人の役に立つ人間になりたいと思うか

[学校での生活に関する意識]

- ・学校に行くのは楽しいか
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか
- ・学校のきまりを守っているか

[ICTの活用、主体的・対話的で深い学びに関する意識]

- ・授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思うか
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいたと思うか
- ・自分の考えを発表する機会では、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思うか
- ・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うか

[家庭での学習に関する意識]

- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしているか

- ・学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間勉強をしているか
 - ・学校の授業時間以外に、1日当たりどのくらいの時間読書をしているか
- [社会に対する関心や地域との関わりに関する意識]
- ・新聞を読んでいるか
 - ・今住んでいる地域の行事に参加しているか
 - ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあるか

5 今後の取組

- (1) 児童生徒の確かな学力の定着を図るため、授業改善を推進する。そのために以下のような取組を行う。
 - ア 市内全小・中学校において、全国及び千葉市学力状況調査の結果等をもとに自校の学力の傾向や課題を把握し、その改善に向けた学力向上アクションプランの見直しを行う。アクションプランは全職員で共有し、検証と改善を重ねながら実践に取り組み、次年度以降の学力の向上に生かす。
 - イ 各教科の改善策や指導のポイントを示した「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業改善に向けて」を作成し、各学校に配布して、校内研究での活用を図る。
 - ウ 教科指導における ICT 活用の促進を図る。
- (2) 「教育だよりちば」やWeb サイト等を通して、家庭学習の大切さや家庭での児童生徒の望ましい生活習慣の在り方を広く保護者に発信する。
- (3) 児童生徒が、これまで以上に各教科や領域において、地域の様子を調べたり、地域の人と関わったりする学習を進めるよう学校に助言する。

6 公表日及び公表方法

- (1) 公表日
令和元年年10月16日(水)
- (2) 公表方法
市ホームページ
【URL】 <http://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/kyoikushido/26gakuryokutyousa.html>